

②交通シミュレーション調査の実施について

■調査目的等の確認

- 大和西大寺駅周辺の現況交通流動実態の把握
 - 交通動態調査の目的及び内容の確認
 - ・高架化や周辺道路整備等の抜本的な対策の整備効果を定量的に検証することを想定
- ※ 本調査で得られた成果は、今後の事業方針等の検討を行う際の基礎的な資料として活用することを想定。3者で連携しながら、共通の目的を持って実施していくことが重要。

現況交通流動実態の把握・高架化事業の効果検証

調査・分析項目（案）		調査・分析の目的
交通動態調査	交差点方向別交通量調査	・ 交差点ごとの方向別交通量をすることで、交差点における交通動態を把握
	ナンバープレート調査	・ 車両ナンバープレートを追跡調査することで、駅周辺地域における交通動態を把握
	滞留長調査	・ 交差点や踏切における滞留長を計測することで、当該地点における交通動態を把握
データ分析	交通ビッグデータ	・ 交通ビッグデータ（ETC2.0等）を活用することで、広域的な交通動態を補完
	駐車場データ	・ 駅周辺の商業施設等の駐車場データを活用することで、局所的な交通動態を補完
効果検証	交通量推計	・ 将来の広域的な交通動態を予測することで、事業効果を定量的に検証
	ミクロ交通シミュレーション	・ 駅周辺の交通動態を詳細に再現することで、高架化や周辺道路等の整備効果を定量的に検証

交通シミュレーション調査範囲について

